

プレス・リリース

白川幸司監督作品 映画『SPICA』

第59回 カンヌ国際映画祭 ショートフィルムコーナー正式出展

第52回 オーバーハウゼン国際短編映画祭 インターナショナル・コンペティション部門 ノミネート

第59回 カンヌ国際映画祭ショートフィルムコーナーに正式出展 <http://www.festival-cannes.fr/>

1999年からインターネットを使った映像配信により、国内外の短編映画を日本、海外に紹介しているopenArtは、カンヌ国際映画祭の正式プログラム・ショートフィルムコーナーにて、openArtライブラリ短編映画作品としてプログラム上映する。日本から短編映画プログラム上映を行うのは、今回がカンヌ映画祭史上初。そのプログラムの1つとして白川幸司監督作品 映画『SPICA』が正式に選ばれ、カンヌ国際映画祭期間中に上映されることが決まった。カンヌ国際映画祭は2006年5月17日から28日に渡って開催され、同ショートフィルムコーナーは初日から27日までの間、世界中から集まったバイヤー、映画プロデューサー、映画祭プログラマー、およびエージェントなどに開放される。



白川幸司監督作品 映画『SPICA』 A KOJI SHIRAKAWA FILM 2005/HDV/16:9/color/STEREO/30min/JAPAN

—命は平等ではない— ストーリー ドナー待ちの我が子を救う為に、両親はそれぞれの方法で狂気に走る・・・

公式 WEBSITE HUEWEBLOG <http://film.m78.com/> 『SPICA 予告編』Flash, 1min30sec http://film.m78.com/spica/new2/s_yokoku.html

監督白川幸司 2002年、劇場公開デビュー作品『眠る右手を』が香港国際映画祭などで絶賛されたインディペンデントの異才。続く2003年、短編映画『マチコのかたち』も劇場公開されると同時にバンクーバー国際映画祭ほかで上映され、韓国のJuMF2004ではグランプリを獲得。

出演 鈴木薫 女優。前作『マチコのかたち』に引き続いての主演。

福島拓哉 映画監督。代表作『PRISM』(01)。自身の新作『クロス・ザ・レンズ』公開間近。

撮影 井川広太郎 監督デビュー作『東京失格』公開準備中。

オーバーハウゼン国際短編映画祭 The International Short Film Festival Oberhausen (<http://www.kurzfilmtage.de/>)

世界で最も長い歴史を持つ由緒ある短編映画祭。世界一多くの作品がエントリーされることでも知られ、昨年は5000を超える作品が応募された。中核であるインターナショナル・コンペティション部門の他にも多数のプログラムが用意されており、実験映画からドキュメンタリー、フィクション、アニメーションまで、そのラインナップはユニークで斬新な作品が多く、「知的」な映画祭との別称もある。

第52回オーバーハウゼン国際短編映画祭インターナショナル・コンペティション部門への『SPICA』出品にあたり、白川幸司監督、主演の鈴木薫、福島拓哉、撮影の井川広太郎が、2006年5月6日(土)から10日(水)の4泊5日の日程で現地に赴き、正式に参加することが決まりました。過去の映画祭参加時同様に、今回も旅行記を記す予定です。媒体を通じてカンヌ国際映画祭への出展、『SPICA』および本作映画祭コンペティション出品の旨など、ご紹介して頂ければ幸いです。『SPICA』DVD試聴、スチール写真の貸し出し、ご取材の依頼など、お気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

有限会社ゴーギャングズ・インターナショナル openArt事務局 担当：山本

TEL) 03-5649-3801 FAX) 03-5649-3802 MAIL) mail@open-art.tv WEB) www.open-art.tv